



平成 28 年 3 月 30 日

各 位

上 場 会 社 名	東 邦 瓦 斯 株 式 会 社
本 社 所 在 地	名 古 屋 市 熱 田 区 桜 田 町 19 番 18 号
代 表 者	代 表 取 締 役 社 長 安 井 香 一
コ ー ド 番 号	9 5 3 3
上 場 取 引 所	東 京 ・ 名 古 屋 第 1 部
問 合 せ 先	執 行 役 員 企 画 部 長 児 玉 光 裕
	T E L 0 5 2 ( 8 7 2 ) 9 3 1 3

## 平成 28 年度事業計画に関するお知らせ

平成 28 年度事業計画について、公表いたしましたのでお知らせいたします。  
詳細については、添付資料をご参照ください。

以 上

## 平成 28 年度 事業計画

### 1. はじめに

当地域経済は、生産・輸出・個人消費などで本格回復に向けた足取りが重く、中国をはじめとした新興国経済の減速、原油価格・為替や金融市場の不透明感などもあり、先行きは見通しにくい状況にあります。

エネルギーについては、本年 4 月の電力に続き、平成 29 年 4 月にはガス市場の全面自由化が実施されるなど、事業環境は大きくかつ急速に変化していきます。

こうした中で、競争はさらに激化するものと想定しておりますが、環境性に優れる天然ガスは、一層の市場拡大が期待されます。また、大きな環境変化は会社を変革し、さらなる成長につなげるチャンスでもあります。

当社は、中期経営計画のコンセプトである「強いガス事業の構築」と「さらなる成長の実現」に向けた取組みを推進するとともに、環境変化に的確に対応し、いつの時代においてもお客さまや地域社会から信頼され、選ばれ続ける企業を目指してまいります。

### 2. 主要施策

「強いガス事業の構築」では、ガスの全面自由化を見据え、多様化するニーズを捉えたサービスの提供によるお客さまとの関係深化、低廉なエネルギーの安定調達を推進し、自由化時代でも変わらぬガス事業の基本である安定供給、安全・安心を守ります。

また、東邦ガスグループの「さらなる成長の実現」に向け、ガス事業の広域展開を図るとともに、電力販売などエネルギー関連分野を中心に事業領域を拡大します。

#### (1) お客さまとの関係深化

##### 【家庭用分野】

高効率ガス機器や新たな付加価値の提案など、お客さまのニーズにお応えするサービスを、当社と E N E D O とが一体となって提供します。

家庭用コージェネレーションでは、低コスト・省スペース型燃料電池「エネファーム t y p e S」の新製品を発売(28 年 4 月)し、新築住宅に加え、集合住宅・既存住宅への販路を拡大します。

ガス機器メンテナンスサービス「らくらくメンテ」(28 年 2 月開始)に続き、会員サイト「C l u b T O H O G A S」(28 年 3 月)を通じたポイントサービス等の提供を開始するとともに、本年 4 月より当社グループのガスをお使いのお客さまを中心に電力販売を開始します。

引き続き、お客さまのご要望にお応えし、「くらし」に役立つサービスの提供に努めてまいります。

##### 【業務用分野】

お客さまへの最適なエネルギー利用の提案と質の高いサービスの提供を通じて、当地域の「ものづくり」を支えます。

都市ガスへの燃料転換、高効率ガス空調「GHP エグゼア II」(27 年 10 月発売)、「涼厨。」をはじめとする業務用厨房機器、より高効率なコージェネレーションなど、お客さまに最適なエネルギーシステムを提案します。

総合ユーティリティサービスや省エネ診断、メンテナンスを含むエネルギー管理支援、業務用お客さま向けの電力販売など、お客さまのご要望にワンストップに対応します。

#### (2) 安全・安心の確保

##### 【防災対策】

お客さまの安全確保、二次災害防止とともに、供給継続・早期復旧に向けた取組みを強化します。

本社構内に無線鉄塔を有する新たな防災拠点ビル(29 年 3 月竣工予定)を建設し、既設防災拠点と連携した迅速・適切な災害対応、第二お客さまセンター(コールセンター)の設置による災害時受付体制強化など、大規模災害時の B C P 機能を高めます。

「南海トラフ巨大地震」にも備えた生産・供給設備の防災・津波対策を着実に実行するとともに、発災時における緊急遮断対象地区の細分化など、震災後復旧期間の短縮に向けた取組みを強化します。

## 【保安対策】

安定供給と保安レベルの維持・向上に向けた取組みを強化します。

低圧ねずみ銹鉄管対策の完了(28年1月)に続き、生産・供給設備の経年化対策など計画的なメンテナンス・更新を進めます。また、敷地内他工事による内管損傷防止対策を強化するなど、漏洩・損傷事故防止に向けた対策を強化します。

ガス消費機器の安全確保・向上に向け、家庭用非安全型ガス機器・不良給排気設備の低減に向けた対策を加速するとともに、28年度完了を目指して業務用厨房換気センサーの設置を進めます。

## (3) 低廉なエネルギーの安定調達

### 【LNG調達の多様化】

ペトロナスポートフォリオ契約(29年度以降)、北米キャメロンプロジェクト(30年度以降)からの調達など、LNG導入における価格指標と調達地域の多様化を推進し、安定調達と価格低減を両立します。

### 【受入基地の効率的運用・柔軟性向上】

知多緑浜No.3LNGタンク(28年8月完成予定)やBOG再液化設備(28年6月完成予定)を有効活用することで、LNG調達の多様化に対応するとともに、基地運用の一層の効率化を図ります。

## (4) ガス事業の広域展開

引き続き導管網の増強・延伸を進め、都市ガスエリア全域への輸送能力・供給安定性を高めるとともに、都市ガスのエリア拡大に向けた取組みを強化します。

基幹幹線の増強では、現在建設中の三重幹線(四日市～津)に続き、南部幹線(知多～安城：29年着工予定)の設計を進めます。また、供給エリアの拡大に向け、岐阜県東濃方面・三重県北勢方面での導管延伸に続き、愛知県南部方面での導管整備を進めます。

さらに、より広域なエリアにおける工業用のお客さまに対して、東邦ガスグループが一体となり、LPG・LNGなどの販売を進めます。

## (5) 事業領域の拡大

### 【電力販売の開始】

お客さまに引き続き当社を選んでいただくためのメニューとして、28年4月より電力販売を開始します。

当社グループの都市ガス・LPガスの販売エリアである愛知県・岐阜県・三重県およびその周辺エリアで、初年度となる本年は家庭用のお客さまを中心に2万kW、今後5年間で10万kWの契約獲得を目指します。

必要となる電源は、卸電力市場の活用、他社からの調達に加えて、当社四日市工場での1.5万kW級調整用電源(29年運転開始予定)を建設するなど、多様なソースを確保します。

### 【スマートタウンの構築】

名古屋市港区の「みなとアクルス」において、ガス・電気・熱エネルギーの一括供給を行うことにより、総合エネルギー事業のモデル地区となる「スマートタウン」を実現します。

スポーツ施設など一部施設の先行開業(28年2月)に続き、水素ステーション、天然ガススタンド及びLPGスタンドを併せもつ「みなとアクルス エコ・ステーション」をオープン(28年5月)します。

今後も、「エネルギーセンター」の運転開始(29年春予定)をはじめ、「まちびらき」(30年秋予定)に向けて、基盤整備工事や各施設の建設を進めます。

## (6) 経営基盤の強化

お客さまや地域社会から信頼される企業であり続けるため、コーポレートガバナンスの向上、コンプライアンスの徹底に努めます。

不断の経営効率化に取り組むとともに、技術開発及びエンジニアリングといった技術力や現場力を強化します。併せて、こうした取組みを支える人材の確保・育成を推進します。

また、29年度のガス事業制度見直しを見据え、託送関連情報システムの開発や、適切な業務遂行体制の整備などの対応を着実に進めます。

### 3. 数値計画

#### (1) ガス販売計画

- お客さま数は、新築のお客さまにおける都市ガスシェアの維持・拡大につとめ、対前年+22千件、0.9%増の2,408千件とする計画。
- ガス販売量は、業務用を中心とした需要の着実な開発を進め、全体で対前年+121百万m<sup>3</sup>、3.2%増の3,960百万m<sup>3</sup>とする計画。
- 内訳は、家庭用では2.9%増の751百万m<sup>3</sup>、業務用では3.8%増の2,950百万m<sup>3</sup>、卸供給では2.5%減の260百万m<sup>3</sup>。

<表1. 東邦ガス(単体)：お客さま数・ガス販売量>

	単位	27年度 (実見)	28年度 (計画)	対前年 増減	対前年伸び率
お客さま数	千件	2,386	2,408	+22	+0.9%
家庭用	百万m <sup>3</sup>	730	751	+21	+2.9%
業務用	百万m <sup>3</sup>	2,843	2,950	+107	+3.8%
卸供給	百万m <sup>3</sup>	266	260	△6	△2.5%
ガス販売量計	百万m <sup>3</sup>	3,839	3,960	+121	+3.2%(+1.4%*)

※…気温・閏年影響補正後

<参考 グループ(連結)：お客さま数・ガス販売量>

		単位	27年度 (実見)	28年度 (計画)	対前年 増減	対前年 伸び率
お客さま数	天然ガス	千件	2,409	2,432	+23	+0.9%
	LPG	千件	465	473	+8	+1.6%
販売量	天然ガス	百万m <sup>3</sup>	3,963	4,098	+135	+3.4%
	LPG	千ト	435	447	+12	+2.7%

#### (2) LNG使用計画

- LNG使用量は、対前年4.3%増の3,084千トとする計画。

#### (3) 設備投資計画

- 設備投資額は、製造基盤整備や広域的な導管整備、防災・保安対策などを進め、対前年+103億円の464億円とする計画。
- 製造設備では、知多緑浜工場のNo.3LNGタンク建設やBOG再液化設備の建設など86億円。供給設備では、三重幹線などの基幹幹線整備、導管延伸・増強、経年ガス導管対策、防災拠点ビルの建設など291億円。託送関連情報システム投資、「みなとアクルス」エネルギーセンター建設など、その他設備で87億円。

<表2. 設備投資計画>

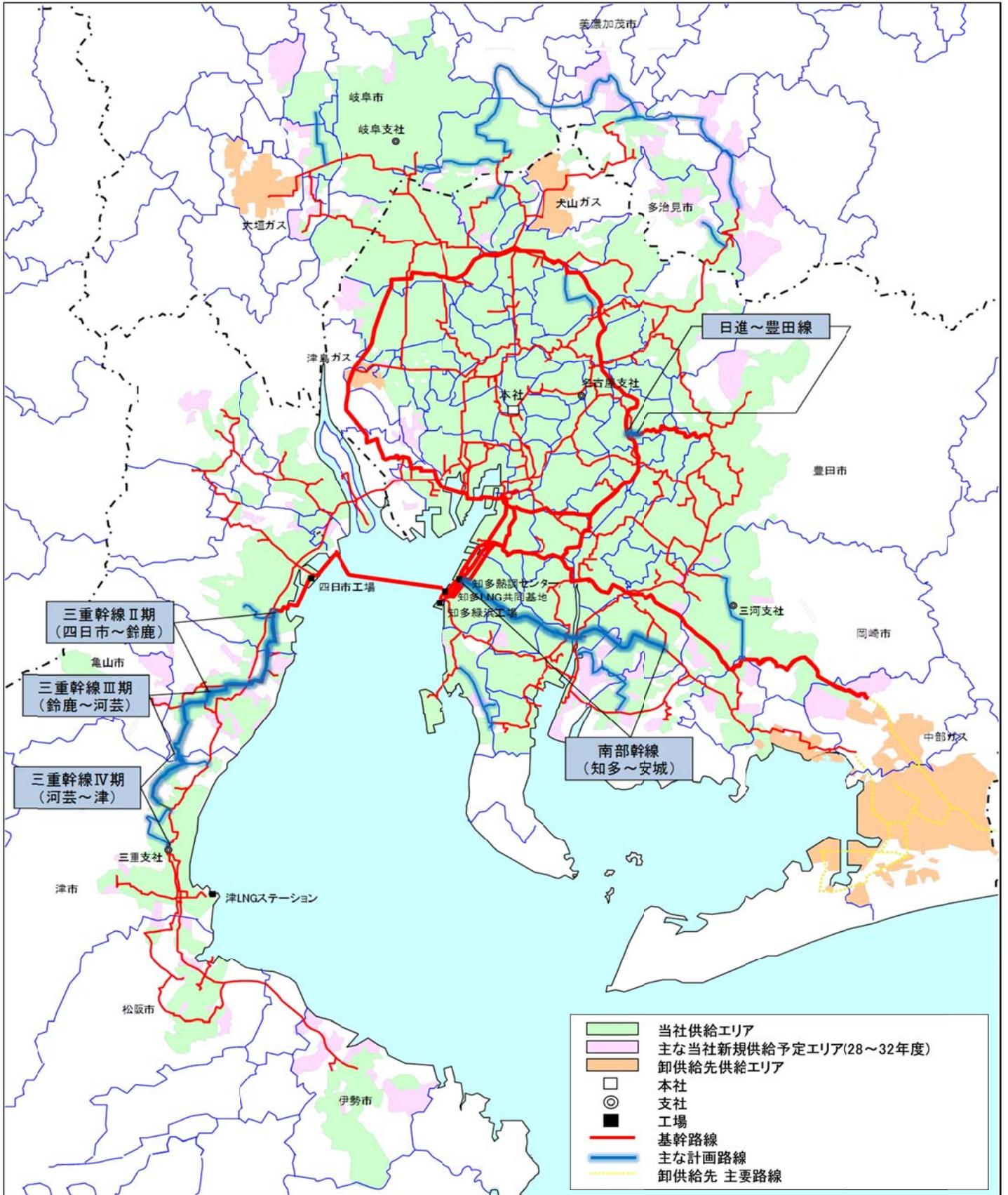
[単位：億円]

	27年度(実見)	28年度(計画)
製造設備	64	86
供給設備	244	291
その他設備	53	87
合計	361	464

(参考：上記の他に、上流権益関係での子会社への出資を32億円予定(28年度))

— 以上 —

# 供給エリア図



【主な基幹路線計画】

路線	計画延長	施工年度
三重幹線Ⅱ期 (四日市~鈴鹿)	15.0 km	30~34
三重幹線Ⅲ期 (鈴鹿~河芸)	14.2 km	25~28
三重幹線Ⅳ期 (河芸~津)	15.3 km	27~30
南部幹線 (知多~安城)	26.0 km	29~34
日進~豊田線	0.4 km	28~29